



# さい帯血バンク

# バンク NOW

## 第18号

2004年7月15日発行  
日本さい帯血バンクネットワーク  
発行者：鎌田薫(会長)  
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社東館6階  
TEL 03-5777-2429 FAX 03-5777-2417

<http://www.j-cord.gr.jp/>

# キャラクター決まる 5周年で記念大会開催も

日本さい帯血バンクネットワークは1999年8月11日に設立総会を開催して発足しました。今年で5周年を迎えることとなります。このため、5周年記念事業実行委員会（鎌田薫会長）を設置して準備を進めています。これまでに、記念大会の開催とさい帯血バンクのシンボルキャラクターの採用が決まっています。

## 情報と意見交換

設立5周年記念大会

名称：日本さい帯血バンクネットワーク設立5周年記念大会  
「明日にむかって」

日時：10月16日(土)午後2時から

会場：東京ビッグサイト(臨海副都心)

設立5周年の記念式典をはじめ、記念シンポジウムなどの準備を現在進めています。また、当日午前中には、全国のさい帯血採取病院からスタッフが一堂に会しての情報と意見の交換会も予定しています。さらに、夕刻からはレセプションを開催して懇親の場を予定します。詳細は次号でご紹介します。参加自由です。

## 原画はやなせ氏

シンボルキャラクター

日本さい帯血バンクネットワークでは5周年記念事業の一環として「それいけ!アンパンマン」の作者・やなせたかし氏(日本漫画家協会理事)に、さい帯血バンクのシンボルマークの作成をお願いしていましたが、このほどそのシンボルキャラクターができあがりました=題字左=。今後、このキャラクターはさい帯血バンクのシンボルとして、全国のさい帯血バンク関連の印刷物や催し物などに登場します。

やなせたかし氏の話

「顔のかたちははずくの形状です。」

さい帯血で多くの人を救うことができるなら、それはやはり天使ではないかということで、薄紅色のかわいい天使にいたしました。マークとして使えるようにシンプルです。なるべく多くの人に愛されて、さい帯血の重要性を理解していただけることに、少しでも役立てばうれしいと思いながらデザインいたしました」



## キャラクターの愛称募集

1. 官製ハガキに愛称(ネーミング案)を書いておくってください。
2. 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、職業を忘れずに。
3. 応募点数に制限はありません。

ただし、ハガキ1枚に1点のみ。  
宛先：日本さい帯血バンクネットワーク設立5周年記念事務局  
〒170-8630 豊島区東池袋3-1-3  
サンシャインシティワールドインポートマート9F

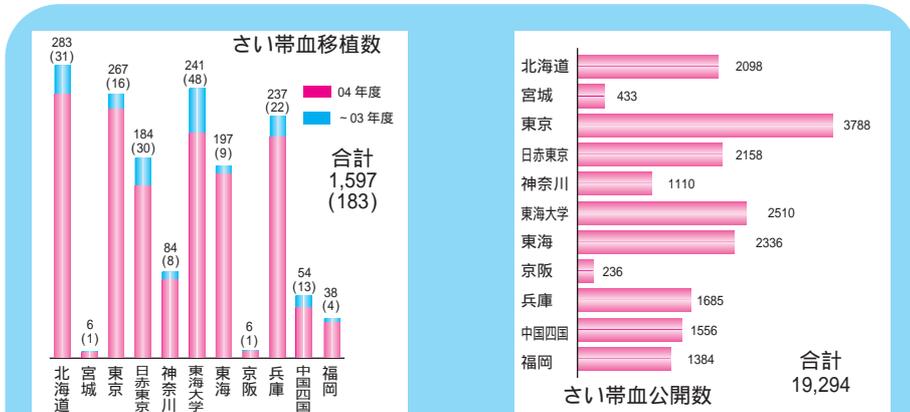
締切：9月20日、当日消印有効

発表：10月16日「さい帯血バンクネットワーク5周年記念大会」にて

賞品：やなせたかし先生の原画  
審査委員長：やなせたかし先生

ホームページからの応募も可能。

<http://www.j-cord.gr.jp/>



【注】 グラフのデータは、2004年6月末現在。  
左のグラフの数字はカッコ外が~03年度の移植数、カッコ内が04年度移植数。  
左のグラフは使用数であり、複数さい帯血同時移植(2本のさい帯血を同時に移植)が11例行われているため、累積実施移植数は1769例。  
複数さい帯血同時移植は、02年度3月、03年度4月、5月、7月、10月、2月、04年度4月、5月に実施。



# 公平性確保にご理解を

## さい帯血の複数同時申し込み禁止のお願い

「日本さい帯血バンクネットワーク」の成立時から（もう5年前になります！）いかに公平なシステムを作るか、というのは関係者の命題でした。限られた数のさい帯血をその時々が必要とする方に使っていただくため、バックアップとしての予約や複数のさい帯血を予約すること、移植予定が立たない場合の長期予約などはしないよう、お願いしております。お一人の患者さんに複数のさい帯血を予約しないという点については、各さい帯血バンクがさい帯血の確定処理（特定のさい帯血を特定の患者さんのために予約する作業）を行うとき、既に他バンクから確定されている場合、次の確定ができない、ということで確認しています。

この作業には、移植病院からさい帯血バンクにファクスで送られてくるさい帯血申込書の利用者ID番号が必要です。もし利用者ID番号を空欄として複数さい帯血バンクに申し込みをされると、短期間ながら、複数のさい帯血をお一人の患者さんのために予約することは可能です。さい帯血バンクは善意のお母様方のご協力によって成立しているので性善説によっており、IDの書いてない移植責任者には「ID番号を教えてください」とお願いするだけです。その短期間の間に、生着不全などで緊急にさい帯血移植を必要とする方がいるかも知れません。

「日本さい帯血バンクネットワーク」HPの公開検索に入ると、検索

に進む前に注意事項のページがあります。その「3 さい帯血の申し込み」には「さい帯血の申し込みに関する注意点、申し込み方法の詳細および申込書のダウンロードなどに関しては、[こちら](#)を参照してください」とあり、[こちら](#)をクリックすると、さらに「日本さい帯血バンクネットワークさい帯血申し込み方法」のページになります。ここに「さい帯血提供の規程」があります。これは「特定の患者さん用に複数のさい帯血が予約され、または特定のさい帯血が長期間非公開になり、結果として、移植を必要とする他の患者さんに不公平が生じないように」という目的で定められました。各登録移植病院にはご理解をお願い申し上げます。

## 採取数より細胞数に力点

### 第3回東京臍帯血バンクセミナー

### 3部構成で情報交換と議論セミナー

第3回東京臍帯血バンクセミナーが5月8日、東京・パレスホテルで開催されました。

最初に、日本大学医学部細胞再生・移植医学の麦島秀雄先生の司会で東大医科研の高橋恒夫先生が、日本の現状ではすでに2万を超えるさい帯血が採取・保存されており、数的にはほぼ満足できる状態にまでなっていることが紹介されました。

しかしながら移植側は少しでも細胞数が多いさい帯血を希望されるので、少ないものはいつまでも保存されている、という問題点が指摘されました。今後のさい帯血採取・保存は単に採取を多くすることは意味がなく、細胞数の多いものに力点を移動させるべきことが明らかにされました。

第2部は慶応大学の岡本真一郎、東京大学医科学研究所の井関毅両先

生司会で行われました。前半は帝京大学の白藤尚毅先生が同大学と都立府中病院の成績を中心に優れた移植成績を述べられました。また、成績の差はGVHDに対する対策の差であることが示唆され、特にステロイドの安易な使用に対して警告されました。

後半は東京大学医科学研究所の高橋聡、東京大学医学部血液内科の神田善伸、帝京大学医学部血液内科の後藤守孝、虎の門病院血液内科の宮越重三郎、慶応大学附属病院血液内科の森毅彦の諸先生方、およびコメンテーターとして特別講演に来日されたDr. Sanzも参加され、パネル・ディスカッションが開催されました。

特にさい帯血移植に積極的な施設、消極的な施設、ミニ移植に積極的な施設、そうではない施設と分かれた構成であったこと、あらかじめ参加

者全員に具体的な症例を提示してあったことなどにより、これまでの研究会ではみられないような白熱した議論が交わされました。

第3部は岡本先生の司会のもとこの日のためにスペインから参加されたLa Fe大学病院のDr. Guillermo F Sanzの特別講演が行われました。彼は米国血液学会の学会誌であるBlood誌上で成人における臍帯血移植成績を発表された方です。スペインの移植状況とその後の成績について述べられました。また、活動はユーロ全体に広がり、造血幹細胞移植の全体の進行している研究、およびその成果について講演されました。

今回は3回目になりましたが、特に移植医療の選択、治療の仕方まで議論の対象となり、盛り上がりました。繁忙期にもかかわらず、150人を超える医師が参加され、とくにこのような情報と議論がこれからの移植医療の進展に必要であることが認識されました。



# 事業運営・事業評価委員を全員改選

本誌前号で既報の通り、日本さい帯血バンクネットワークは今年度、全ての役員が改選になりました。役員だけでなく、事業運営委員と事業評価委員も全て3月の総会で改選されました。両委員会の委員長は最初の委員会で互選により決定しますが、事業運営委員長は4月の委員会で野村正満氏が再選されました。また、6月8日に開催された事業評価委員会は、陽田秀夫氏（前監事）を委員長に選任しました。両委員長のメッセージと委員の一覧は次の通りです。

## 事業運営委員長

野村正満

引き続き事業運営委員長を仰せつかることになって、身が引き締まる思いです。日本さい帯血バンクネットワークの今年度は設立5周年という節目の時でもあります。また、これから解決していかなければならない問題もたくさん残っています。その大きなひとつは、移植データの管理と公開という課題です。ここまで多く



のさい帯血移植が行われるようになって、成績の評価を社会に示すことが求められています。鎌田会長を支えて取り組んでいきたいと思えます。

事業評価委員長 陽田秀夫

事業評価委員会におきまして、事業評価委員長をお引き受けすることになりました、陽田秀夫と申します。さい帯血バンクとの出会いは、厚生省（当時）のさい帯血移植検討会の委員の委嘱を受



けたことから始まり、NWスタートとともに監事を4年半程努めさせていただきました。さい帯血バンク事業のみならず、国庫補助金による支援を受け、さらに広く市民の善意による協力を得て行う公的な事業においては、組織内に「事業の評価を行う」機能を有することは極めて重要な事と考えております。さい帯血バンク事業に関しては全く専門外の私ですが、すばらしい委員の皆さんと協力して委員会の任務を全うしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

## 委員名簿

敬称略、委員長、副委員長、委員は50音順、職名は現職（平成16年4月1日現在）。任期は：平成16年4月1日～18年3月31日

### 事業運営委員会委員

野村正満（全国骨髄バンク協議会）  
土岐博信（中国四国臍帯血バンク）  
朝倉正博（赤羽ライオンズクラブ）  
浅野茂隆（早稲田大学教授）  
東 寛（北海道臍帯血バンク）  
恵美宣彦（名古屋大学医学部病院）  
岡田義昭（国立感染症研究所）  
甲斐俊朗（兵庫さい帯血バンク）  
加藤剛二（東海臍帯血バンク）  
加藤俊一（東海大学さい帯血バンク）  
加藤徳男（農業、移植経験者）  
木村 紀（全国骨髄バンク協議会）

神前昌敏（京阪さい帯血バンク）  
坂巻 壽（都立駒込病院内科）  
佐藤ときえ（移植経験者）  
佐藤博行（福岡県赤十字臍帯血バンク）  
高梨美乃子（日赤東京臍帯血バンク）  
高橋恒夫（東京臍帯血バンク）  
谷口修一（虎の門病院血液科）  
中林正雄（愛育病院）  
西平浩一（神奈川臍帯血バンク）  
峯岸正好（宮城さい帯血バンク）  
森山弘子（東京都看護協会）

### 事業評価委員会委員

陽田秀夫（福島骨髄バンク協議会）  
池淵研二（埼玉医大附属病院）  
安達知子（愛育病院）  
飯島賢一（自営業、移植経験者）  
池田和真（中国四国臍帯血バンク）  
池田直樹（全国骨髄バンク協議会）

磯山恵一（神奈川臍帯血バンク）  
伊藤経夫（宮城さい帯血バンク）  
大山政則（福岡県赤十字臍帯血バンク）  
佐多徹太郎（国立感染症研究所）  
佐竹正博（日赤東京臍帯血バンク）  
佐藤 薫（東海大学さい帯血バンク）  
佐藤典宏（北海道臍帯血バンク）  
品川保弘（全国骨髄バンク協議会）  
土田昌宏（茨城県立こども病院）  
原谷眞由美（おぎゃあプレゼンツ東京の会）  
樋口一夫（弁護士）  
平岡 諦（大阪府立成人病センター）  
星野茂角（東京臍帯血バンク）  
松崎道男（虎の門病院輸血部）  
松本加代子（京阪さい帯血バンク）  
三澤眞人（兵庫さい帯血バンク）  
矢崎 信（東海臍帯血バンク）  
横尾京子（広島大学大学院医学部）



すこやかに、幸せに。

明日への夢、描きたい。

人から人へ、心から心へ、医療という名のヒューマンなコミュニケーションを広げたい。真の健康を守り、幸福な社会を築くために、優れた医療機器を広くおとどけしているニプロ。

私たちニプロはさい帯血を採取保存する技術でさい帯血バンクを応援致します。

**NIPRO**

ニプロ株式会社  
大阪市北区本庄西3丁目9番3号



# 里帰り出産での提供も

採取病院  
訪問記②

## 北海道臍帯血バンク

## 36週の妊婦に説明



北海道臍帯血バンクの採取施設は、いずれも札幌市内にある6つの病院です。その6病院の中でも「札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル」=写真上=は最もさい帯血の採取数が多い病院です。東京などにお住まいの妊婦さんが札幌で里帰り出産をする際に、さい帯血を提供できるからとこの病院を選ぶ例などもあるそうです。

### 採用は採取の46%

北海道でもおそらく最も出産数が多い産科を中心にした病院です。年間1500件以上の出産があるそうですが、前年度では418件のさい帯血がこの病院から北海道バンクへ運ばれました。北海道では運ばれてきた時点で40ml未満のさい帯血は、対象から外されます。40ml以上の量があっても、バンクで様々な検査や細胞の分離調製が行われますが、細胞数の計測でさい帯血移植に必要な細胞数の基準に達していないさい帯血は保存されません。札幌マタニティ・ウイメンズホスピタルの418件のうち、採用されたのは150件ですから、

仮保存率は36%です。北海道バンク全体では採取794件で仮保存は369件ですから46%です。昨年からの最低限の細胞数の基準が倍に引き上げられたため、できるだけ多く採取できるように努力しています。

### セレモニーと併行

横尾洋一副院长は「たくさん採れそうなさい帯は見るとすぐわかりますね、太くてモチモチしていますから。でも、うちのは採用率が低いんですよ」実は、ここでは出産後すぐにお母さんのおなかに赤ちゃんを抱かせたりのセレモニーがあります。分娩後なるべく早く採取しないと、さい帯血は凝固が始まるのだそうです。採取は助産婦さんが行いますが「これからさい帯血を採取しますよ」「ありがとうございます、採れましたよ」とお母さんに声をかけています。しかし、女兒を産んだ齋藤純さんは「全然覚えていません」とのこと。出産の喜びと、すぐそばで新生



児が処置されるのを見ていて、さい帯血採取まで気がまわらないのが現実のようです。

今回お邪魔したもうひとつ採取施設「手稲溪仁会病院」は総合病院です。ここの産婦人科では年間600件ほどのお産がありますが、やはり総合病院であるだけに3割ほどは異常



藤野部長と森河看護師長

分娩があるそうです。でも、リスクが少ない帝王切開の場合などでも、さい帯血は採取するそうです。藤野敬史産婦人科部長は「妊娠36週に外来ですべての妊婦さんに、さい帯血提供の説明をしています。断る方はいません」とのこと。

### 週末は対応できず

森河琴美看護師長によると「お産が週末になって、さい帯血の採取ができないお母さんは残念がっています」と妊婦さんたちは積極的だそうです。これは、採取したさい帯血の調製は採取後24時間以内に処理しなければならないため、バンク職員の勤務体制から、金曜日午後から日曜日午前の出産には、どうしても対応できないのだそうです。今年6月30日に2人めの赤ちゃんを産んだ赤杉理恵子さんは「最初の子は金曜日の夜に生まれてだめでした。今回はちゃんとさい帯血を採っていただきました」とうれしそうでした。

### ご寄付をいただきました

5周年記念事業協賛金(寄付金)

ヘモネティクスジャパン(株)	20,000円
旭メディカル(株)	300,000円
バクスター(株)	50,000円
テルモ(株)研究開発センター	100,000円
バイエルン薬品(株)	50,000円
日本ボール(株)	100,000円
オーソ・クリニカル・ダイアグノス	
ティックス(株)	50,000円

萬有製薬(株)	50,000円
ブリストル・マイヤーズ(株)	50,000円
静岡県立湖西高等学校	32,153円
東和交通(株)(愛知県)	50,000円
ニプロ(株)	1,000,000円
藤井奈保子様(静岡県)	10,000円
土屋虎男様(神奈川県)	10,000円
野村正満様(神奈川県)	50,000円
菊池歳光様(神奈川県)	10,000円
南昭弘様(大阪府)	10,000円

中林正雄様(東京都)	50,000円
土岐博信様(岡山県)	20,000円
中谷昭様(奈良県)	20,000円
鎌田薫様(東京都)	50,000円
石川傳彦左工門様(東京都)	10,000円
正岡徹様(大阪府)	30,000円
野村純子様(神奈川県)	100,000円
西尾有津子様(島根県)	100,000円